

何もしたくない気持

三月七日 土曜日 何もしたくない気持ち

急行に乗ったとたん座れた、こんな事って、珍しい。
バスは新型の大型で、毎日、今日の様ならいいのに

一時間目は代数テスト。

一つ完全に間違ってしまった。

絶対符号入りのグラフを書く問題で、符号の勘違い。
ああ、オレの頭にはまだ変な法則が残っているとは！
後から、苦を言っても仕方ないが、しかし、くやしい。

生物はまた自習、そこで、英語の予習をする。

放課後、先輩との会合があったが、
僕はもうハンドボール部、高校になったら、
やめるつもりで、別に行く必要はなかった。

加藤先輩達と、一時半頃まで、「来い」とか、
「いや」とかで、もめ、結局、僕は逃げた。

バスタップに着くと、四十七分が行ったところで、
二時四分まで待たねばならなかった。
すると雨が降って来た。

三条京阪の事務所で傘の忘れ物をしたことを話すと、
深草の事務所で一括管理保管しているとの事だった。

それで、各停に乗り、深草まで行った。
人が出払って、事務所は、暗く、静かで不気味だった。
傘に名前が書いてあるので、すぐわかり、帳面に受理を記載した。